第１表

５武一中発第８６号
令和６年３月５日

武蔵野市教育委員会　殿

学校名　　武蔵野市立第一中学校
校　長　　中嶋　建一郎　　印

令和６年度教育課程について（届）

このことについて、武蔵野市立学校の管理運営に関する規則に基づき、下記のとおりお届けします。

１　教育目標

（１）学校の教育目標

・正しく判断し進んで実行できる人間になろう
・思いやりのある心豊かな人間になろう
・心身ともに健康で明朗な人間になろう

（２）学校の教育目標を達成するための基本方針

基本方針１　「確かな学力の向上と個性の伸長」

生徒の実態を踏まえ、一人一人の基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得による確かな学力の向上を図るとともに、課題の解決や探究活動に主体的、創造的、協働的に取り組む態度を育てる。各教科等において主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、言語活動の充実に向けて授業改善に取り組み、思考力・判断力・表現力の育成を図る。

基本方針２　「人権尊重・心の教育」

東京都の人権尊重教育推進校としての研究の成果を踏まえ、人権に関する知的理解の深化及び人権感覚の涵養を基盤とする人権教育を一層推進する。「特別の教科　道徳」を要として道徳教育の充実を図るとともに、礼節を重んじる態度や規範意識の醸成及び社会性の向上を図る。また、地域や社会に貢献しようとする市民としての自覚を一層高め、豊かな人間性を育む。

基本方針３　「健全な心身の育成」

心と体の健康・安全に関わる指導を充実し、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培い、健やかな体と心身の調和のとれた人間の育成を図る。各教科等や特別活動、学校行事等を通じて体力向上の取組を充実させる。また、自然体験や社会体験などの体験的な活動の充実を図り、課題解決への意欲や態度を培う。

基本方針４　「保護者や地域から信頼される学校づくり」

学校・家庭・地域の協働体制づくりを推進し、地域の人材を講師として招く取組や地域行事などへの参加を通して、地域や保護者との一層の連携・協働に努め市民性の育成を図る。また、「開かれた学校づくり協議会」の機能を充実させ、学校運営への参画を進め、地域に開かれた信頼される学校づくりを一層推進する。

第２表の１

学校名　　武蔵野市立第一中学校

２　指導の重点（◎は学校として特に重点を置く取組）

（１）各教科等

ア　各教科

◎①　各教科の年間指導計画や評価計画を作成し、指導と評価の一体化を図るため、校内研修において互いの授業を参観し合い、授業方法や評価方法について意見交換を行い、指導方法及び評価規準や評価方法の一層の改善を図る。評価規準や評価方法については、各教科の授業や保護者会、面談等を通して生徒・保護者に分かりやすく説明し、信頼される評価・評定を目指す。

◎②　各教科においては、「主体的・対話的で深い学び」を実現する手だてとして、教科の特性を生かして、考察・記録・発表や討論等でコミュニケーション能力を育成する言語活動を指導計画に位置付ける。また学習者用タブレット等を積極的に活用し、生徒の関心・意欲を高め、理解を促進すると共に、思考力・判断力・表現力の育成に向けた効果的な活用を図るように指導を工夫する。

③　生徒の学力向上を図るため、日常の授業の生徒の学習活動を基盤にして、定期考査や単元テスト等及び国の「学力調査」等の結果を分析して作成した「授業改善推進プラン」の推進を図り、生徒の学びに向かう力の涵養を目指す。

イ　特別の教科　道徳

◎①　道徳教育推進教師を中心に道徳教育の全体計画と年間指導計画を作成し、学級担任と他の教師が協働で指導体制を確立し、生徒の発達段階に応じた「考える道徳」「議論する道徳」を実現するために、組織的かつ継続的に授業改善（学習指導のあり方や評価の方法等）について研究する。

②　人権教育プログラムを活用し、様々な人権課題解決に向けた取組を中心とした人権教育を各教科及び総合的な学習の時間、特別活動との関連を図りながら推進する。また、生徒の実態に合った魅力ある教材の活用と体験的な活動を通して、自尊感情を高め、自分と他者を大切にする心を育てる教育の充実を図る。

ウ　総合的な学習の時間

◎①　総合的な学習の時間のカリキュラムを充実させ、自ら課題を見付け、他者と協働して主体的に問題の解決や探究活動に取り組む態度の育成を図る。

②　社会の一員としてよりよい地域・社会づくりに参画していく資質・能力を育成するため「武蔵野市民科」の指導計画を作成し、計画に基づいて適切に実施する。また、「武蔵野市民科」の趣旨を保護者会等で説明するとともに、その成果が地域全体に広がるよう取組内容を学校公開、ホームページや便り等で広報する。

③　第１学年では、「環境」について学習する。特にセカンドスクールにおいて、事前学習として白馬の自然や文化についての学び、現地での豊かな自然体験学習を実践し、生活体験や農業体験を通して、豊かな人間関係を育成する。

④　第２学年では、「生き方」を中心テーマとし、職場体験を通して働くことの意義や地域社会との関わりについて考えさせ、自分自身が地域社会の一員であることへの自覚を高め、生徒の市民性を育む。また、体験活動を通して、生徒の個性や能力の発見に努め、個性の伸長を図り、望ましい職業観・勤労観を育成する。

⑤　第３学年では、「国際理解」を中心テーマとし、修学旅行を通して日本の伝統文化に触れ、世界の中での日本のあり方について考えさせる。また、生き方に関する学習として、３年間を通して学んだことを振り返ることによって、自分自身の将来の生き方を考え行動する態度や能力を育てる。

第２表の２

学校名　　武蔵野市立第一中学校

エ　特別活動

①　学年・学級経営の充実を図り、生徒相互の好ましい人間関係や生徒と教師の信頼関係を育てるとともに、自他の生命を大切にする指導や、礼節を重んじ規範意識を高める指導を徹底する。

②　学校行事や生徒会活動を通して生徒会や委員会を活性化し、生徒の多様な意見表明の機会を設け、その意見を生かしながら活動をする。特に、人権理解学習や朝のあいさつ運動など生徒会の自主的な活動を継続することにより自治能力を育成し、学校生活の充実と向上を図る。

◎③　入学式・卒業式等の儀式的行事や全校生徒に向けた学習発表の場である連合音楽会、校内発表会、体育祭の各競技や集団演技、合唱コンクール等の集団活動を通し、学年にとどまらず上級生が下級生に模範を示していく場を大切にし、「チーム一中」としての自覚を育てる。また、それらの活動を通して上級生が学校の中心的役割を担っていることを改めて認識することにより自信を高め、下級生も伝統を引き継いでよりよい学校を目指して積極的に活動していこうとする意欲を育てる。

（２）特色ある教育活動

◎①　地域との連携による一中フェスタ（青少協・地域・保護者の協力による体験活動）の開催、各種地域まつり、青少協の行事、地域防災訓練への運営参加などの取組を通じて、学校・家庭・地域との連携を一層強化し、健全育成を図るとともに生徒の市民性を育む。

②　年間を通して、全校体制で朝読書に取り組むことや放課後の図書館開放を学校司書と連携して取り組むことにより、恒常的な読書習慣の形成を図り、豊かな心や情操を育み、自ら学ぶ意欲や知的好奇心、表現力の伸長を図る。そのために、本を身近に感じられる環境を整えていく。

◎③「地域の教育力」の活用、生徒会のハートカード（地域高齢者へのお便り作成）活動、人権理解学習、ユニセフ募金活動を通して、社会奉仕の精神や人権教育を充実させ、地域との連携を一層深めるとともに、生徒の多様性を育む。

④　体育祭では、全校体制で学年種目、全員リレー等に取り組み、互いに協力することで、運動に対する肯定的な意識を高め、主体的に運動に取り組む姿勢を育む。応援等の縦割り活動を取り入れ、上級生と下級生が協働する場面を設定し、学年を越えた交流を図り自尊感情を高める。

⑤　第一中学校ブロックの小・中学校合同研修会を通して、生活指導や学習指導に対する情報交換等を行うとともに、小学生を対象とした学校公開の実施方法について小学校との連携を図ることにより、連続性のあるきめ細かな指導を充実させる。

⑥　学校公開や学校公開週間等により、広く教育内容を公開し、保護者や地域の意見を取り入れながら、開かれた学校づくりを推進する。また、ホームページ・各種たより等により生徒が主体的に取り組む活動の様子を積極的に情報発信し、教育活動の相互理解に努める。

⑦　救命救急講習、防災訓練を命の大切さを学ぶ学習と捉え、自他の生命を尊重する心を育てる。また、それらの取組や地域行事等への参加を通し、地域や保護者との一層の連携・協働に努め、市民性の育成を図り、地域社会・行政と連携しながら実践的な地域防災教育を推進する。

◎⑧ 武蔵野市の学校・家庭・地域の協働体制づくりのモデル校として、開かれた学校づくり協議会の機能を一層充実させ、熟議を繰り返す中で、学校と家庭・地域が連携・協働しながら生徒の学び・育ちを支える仕組みの構築・実践に取り組む。

（３）生活指導

①　学年及び学級経営の充実を図り、生徒相互の好ましい人間関係の育成に努めるとともに、一人一人の生徒が自尊感情や自己肯定感を高揚できるような役割や場面を計画的に設定する。また、生徒指導に関する組織的指導体制を充実させ、問題行動の未然防止、早期発見・早期対応に努め、情報モラルを含めた規範意識の向上を図るとともに、集団規律の確立と育成に努める。

第２表の３

学校名　　武蔵野市立第一中学校

◎②　本校の「学校いじめ防止基本方針」に基づき、年３回、学期ごとのいじめアンケート調査や生活状況調査を実施し、全校を挙げて「いじめは決して許さない」といった毅然とした校風を確立させる。

◎③　夏季休業中や２学期末の教育相談週間の設定により、いじめや不登校等の個々の生徒の悩みや不安等の生活状況を把握し、保護者や都スクールカウンセラー、市派遣相談員、不登校対応巡回指導教員、スクールソーシャルワーカーとの連携・協力をより一層強め、生徒・保護者が相談しやすい雰囲気づくりに努め、特別支援教育校内委員会等も活用して組織的に解決を図る。

④　ＳＮＳ東京ルールを基に作成した、生徒の実態に則したＳＮＳ学校ルールの見直しを行い、より一層の徹底を図る。また、保護者会や学校だより等を通じてＳＮＳ学校ルールやＳＮＳ家庭ルールの取組について説明を行い、保護者との連携をさらに深め、デジタル・シティズンシップ教育を推進する。

（４）進路指導を含めたキャリア教育

◎①　全教育活動を通して、生徒の発達段階に応じた生き方指導としてのキャリア教育の充実を図る。社会の一員としての自覚を芽生えさせ、社会人としての義務と責任を考えるとともに、将来の夢や目標を立て、その夢や目標に対する諸課題を理解し、それを克服していく能力や態度を育成する。

②　３年間を見通した進路指導計画に基づき、社会人による講話や職業調べ（１年)、上級学校調べ（２年)、卒業生の話を聞く会、上級学校訪問（３年）等を実施し、計画的、組織的なキャリア教育を進める。

③　働くことへの関心・意欲の向上を図るためキャリアパスポートを活用し、３年間を見通した総合的な学習の時間の全体計画と年間指導計画に系統的なキャリア教育を位置付け充実させる。

④　集団及び個別による進路相談を充実させ、生徒一人一人が、自己の能力と適性を的確に判断し、将来への目標を実現するための手立てを主体的に選択できる能力の育成を図る。その際、進学指導の側面だけでなく、将来に向けての生き方指導の側面も重視して指導する。

◎⑤　職場体験や上級学校訪問などを通して、生徒一人一人が自分のよさや適性を理解し、自己と他者の違いに気づき、自己と他者の個性を尊重し、人間関係を円滑に構築する力を養うとともに、集団の一員としての役割を理解し、その役割を果たそうとする力を養う。

（５）特別支援教育

①　人権尊重教育の一環として、難聴理解授業や手話部の手話コーラスの発表等を通して、難聴学級（エコールーム）通級生徒の聴覚障害について、当事者の立場に配慮しながら正しい理解と認識を深めさせ、他の人に対する思いやりの心を培い、互いに協力し合うことの大切さを理解させる。

◎②　特別支援教育コーディネーターを中心として、学級担任・養護教諭と都スクールカウンセラーや市派遣相談員、スクールソーシャルワーカー、専門家スタッフ等との連携を密にし、支援を必要とする生徒の早期把握と早期対応に努め、生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実を図る。令和６年度の校内研修のテーマを「合理的配慮」とし、講師を招聘して基本的な考え方についての研修を深めるとともに、意見交換を通して合理的配慮を望む個々の生徒・保護者への対応方法について考える。

第３表

学校名　　武蔵野市立第一中学校

３　学年別授業日数及び授業時数の配当

（１）年間授業日数配当表

月／学年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1	15	21	20	14	4	19	22	20	18	17	18	16	204
2	16	21	20	14	4	19	22	20	18	17	18	16	205
3	16	21	20	14	4	19	22	20	18	17	18	12	201
備考	・第１学年は入学式が４月９日のため１日減。 ・第３学年は卒業式が３月１８日のため４日減。 ・土曜日の授業を５月１８日、７月６日、９月７日、１０月１９日に実施する。（すべて振替休業日あり）												

（２）各教科等の年間授業時数配当表

領域等＼学年		1	2	3
各教科	国　　語	１４０	１４０	１０５
	社　　会	１０５	１０５	１４０
	数　　学	１４０	１０５	１４０
	理　　科	１０５	１４０	１４０
	音　　楽	４５	３５	３５
	美　　術	４５	３５	３５
	保健体育	１０５	１０５	１０５
	技術・家庭	７０	７０	３５
	外国語(英語)	１４０	１４０	１４０
	小　　計	８９５	８７５	８７５
特別の教科　道徳		３５	３５	３５
総合的な学習の時間		５０	７０	７０
特別活動		３５	３５	３５
年間総授業時数		１０１５	１０１５	１０１５
備考	・年間を通して１単位時間を５０分とする。 ・行事・学級活動・生徒会活動を通して、心身ともに健康で心豊かな生徒を育成する。学級活動は年間３５時間以上実施する。 ・全学年、年間を通して朝読書を実施する。 （８時２５分～８時４０分の１５分間）			